

## DANnash System

プロジェクト名	Homesickblues		エントリーNo.	2004-01
プロジェクトの種類	タイプA	プロジェクト所在地	U. S. A シカゴ	
出資金額募集総額	¥3, 000, 000.	予算総額	¥111, 207, 104.	
PJの開始時期	2004年5月	PJの終了時期	2005年1月	
プロジェクトの主体	Homesickblues映画制作委員会	責任者	梶野 純子・エドワード コジアスキー	

### 作品の特徴とアピール

この映画のオリジナリティの重要な要素は、主人公ヒロコが楽天的でかつ気が強く、色っぽくもあり、トラブルメーカーでもあるが、めげない。そんな日本人の女の子のがんばりがコメディタッチで描かれ、親近感、スリルが、多くの映画館に足を運ぶ若者に共感を呼ぶことです。

先にも述べたように、この映画のもう一つの特徴は、キャラクターが多くの人種によって構成され違った世代と人種そして違った国との間を音楽が結びつけることです。そしてこれらの特徴から人種、世代のギャップを越えたマーケットの広がりが期待されます。

1 日本人のまだ若い女の子とブルース。現代的な日本人の女の子が、本場のアメリカへ来て人種の歴史と黒人の血で作られた音楽、「ブルース」を歌うという mismatch のおもしろさ。

2 ストーリーが、主人公ヒロコのつたない英語とこだわりのない見方を通して展開し、シカゴそしてアメリカを彼女の立場から見せることです。アメリカ人にとって当たり前のアメリカを新鮮に生き生きとみせ、日本から見た異国のアメリカには親近感を与えます。

3 ジャズ、ロック、R&B、そしてヒップホップのルーツであるブルース。そのブルースを根にしてヒロコが様々な音楽をミックスさせ、彼女独自のミュージックを見付けるストーリーは、アメリカという異国における日本の女の子の成長物語です。アメリカはもちろん、日本、ヨーロッパにおいて、音楽性においてもストーリー性においても幅広く受け入れられることが期待されます。

4 映画の売り上げだけでなくサウンドトラックとしてのCD売り上げ、そして主役を務める女性にとっては、シンガーとして、役者として国際的に注目を浴びるチャンスが期待できるプロジェクト。又新人とベテラン、そしてアメリカのミュージシャンと日本人のミュージシャンのコラボレーションが期待できるプロジェクト。

### 計画の実行性の説明

両監督梶野とコジアスキーはアメリカにおいて、長編映画の制作にプロデューサーまたラインプロデューサーとして関わってきています。今までに制作に関わってきた多くの作品は、すべて予算期間以内に完成されたシカゴを代表する映画です。それはシカゴを代表する映画協力団体シカゴフィルムオフィス、そしてIFPシカゴの協力団体からも確認できる両者の経験と実績です。また、共同制作会社のエクセレントフィルムは、過去に50を超える映画を制作してきているベテラン映画会社です。この会社の社長である伊藤秀裕氏からの裏付け書としての手紙を受け取っています。また、クラウンローズプロダクションは、この映画の製作にあたり、制作費全額を投資する計画を進めています。

協力関係	協力団体	協力関係	協力団体
共同制作会社	Crown Rose Productions		
共同制作会社	Excellent Films		
カメラ支給会社	Panavision		
ロケーション協力	Chicago Film Office		